

## 2020 ボッチャ世田谷カップの実施について

### 1. 主旨

共生社会ホストタウン事業として、東京2020大会パラリンピックを契機とした障害者スポーツ推進の取り組みの1つであるボッチャの交流大会「2020ボッチャ世田谷カップ」を開催する。

### 2. 開催日時・会場

- 日時：令和2年11月28日（土） 10時00分～16時30分
- 会場区立総合運動場体育館

### 3. 大会概要

#### (1) 出場チーム

前回大会と同規模程度の全16チームを予定

※うち一般公募枠は6チーム程度を予定。

※1チームあたりの人数・・・3～6人

※一般公募の対象・・・区内在学・在住・在勤の何れかに該当する方

#### (2) 試合進行

- ・16チームによる予選リーグ（4チーム×4グループ）を行い、各グループ上位2チーム（計8チーム）による決勝トーナメント方式。

- ・1試合2エンド

○【参考】前回大会に出場した16チーム

小学校2、中学校1、児童館1、福祉作業所1、町会・自治会1、総合型地域スポーツ・文化クラブ1、川場村1、アメリカ1、アスリート1、企業3、一般公募3

### 4. 概算経費

1,893千円

（著名人の出演にかかる報償費、周知用チラシの作成、優勝トロフィーの作成など）

### 5. 新型コロナウイルス感染症への対応について

- (1) 大会会場における感染症対策（参加者・関係者による健康チェック表の提出、検温、マスク着用・用具消毒、換気等）を徹底する。 ※詳細は、「別紙」のとおり。
- (2) 今後の感染症の拡大状況によっては大会内容の変更又は中止の判断を行うものとする。

### 6. その他

入賞者等に渡すブーケを、子どもたちが自ら作製しプレゼンターとなる「キッズブーケプロジェクト」については、感染状況を踏まえて実施する。

### 7. 今後のスケジュール

- 10月1日（木）～22日（木） 出場チームの募集期間（一般公募）（予定）
- 10月下旬 応募チーム抽選
- 11月上旬 全出場チーム決定
- 11月28日（土） 2020ボッチャ世田谷カップ開催

前回大会の様子について

試合の様子 1



試合の様子 2



試合の様子 3



キッズブーケプロジェクトの様子



表彰式の様子 1



表彰式の様子 2



**2020ポッチャ世田谷カップ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策【案】****【共通事項】**

- 3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を解消する工夫を徹底する。
- こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
- マスクを着用し、咳をする際には咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。

**1. 主催者側がスタッフに遵守させること**

- (1) イベント当日に37度5分以上の発熱や風邪の症状がある場合には従事をさせない。
- (2) 従事の際には、必ずマスク・ゴム手袋を着用する。
- (3) 会場内での手洗い・手指消毒を徹底する。
- (4) スタッフ・選手用の昼食は、手渡しはせず、所定の場所に配置しておき、各チームの代表者等が取りに行くこととする。
- (5) 下記2の(1)①に当てはまらないことが従事の要件とする。

**2. 参加者募集時の対応**

## (1) 参加者が遵守すべき事項の周知

## ① 健康確認書の作成・提出

※健康確認書は、チームごとに作成し、代表者に提出してもらう。

(参加者・関係者等名簿は別途提出をしてもらう)

※健康確認書は事前に代表者に送付し記入したものを当日受付で提出をする。

以下の項目について、健康チェックを行い、大会当日に健康確認書として提出する。

※1つでも該当がある場合には、大会参加をお断りする。

- イベント当日の体温
- イベント前2週間における以下の事項の有無
  - ・ 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
  - ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
  - ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - ・ 嗅覚や味覚の異常
  - ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
  - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

## ② 主催者が決めた会場内での感染症対策の遵守

※守られない場合には退場させる場合がある。

## ③ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、必ず主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

## ④ 健康確認書とは別に、選手の氏名、連絡先等を記載した名簿を事前に主催者に提出すること。

- (2)選手以外の関係者(引率者等)の来場のルールの周知
  - ①1チームあたりの選手以外の関係者(引率者等)の人数制限について(原則として1チームあたり1～2名程度を上限とする。)
  - ②選手同様、健康確認書のチェック項目に該当しないかをチーム代表者は確認すること。
  - ③選手同様、選手の氏名、連絡先等を記載した名簿をチーム代表者は、事前に主催者に提出すること。
- (3)感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うことについての周知
- (4)大会の開催にあつて、主催者として区は徹底した感染症対策を行うが、万一感染が発生した場合にも、区はいかなる補償も行わないことについての周知
- (5)申し込み方法は、FAX、メールでの申し込みを基本とし、窓口での申し込み受付は原則行わない。
- (6)新型コロナウイルス接触確認アプリ(略称:COCOA)の活用を推奨する。

### 3. 参加受付時の感染防止策

- (1)受付窓口には、飛沫防止シートを設置し、スタッフと来場者を遮断すること。
- (2)会場入り口前に、手指消毒剤を設置する。
- (3)来場者が距離をおいて(できるだけ2mを目安に(最低1m))並べるように目印の設置等を行うこと。
- (4)来場者の検温を実施し、37度5分以上の発熱者については、来場をお断りする。  
※37.0度を超える場合には、本人の体調を十分に確認したうえで来場の可否を判断する。
- (5)受付を行うスタッフにはマスクとゴム手袋を着用させること。
- (6)一般来場者への対応  
応援等で来場した一般来場者については、原則として入場をお断りする。

### 4. 会場内での全般的な感染防止策

- (1)マスクの着用  
全てのスタッフ、選手(競技中も含める)とその関係者については、会場内ではマスク着用を原則とする。
- (2)ソーシャルディスタンスの確保  
会場内での選手、スタッフ、関係者が3密にならないよう、できるだけ、2m、最低1mを目安に会場内でのソーシャルディスタンスの確保を呼びかけることともに、以下の通り制限を行うこと。
  - ①アリーナ
    - 3密を避けるため選手待機席(パイプ椅子)は、最低1mずつ間隔をあけること。
    - スタッフ・選手以外の関係者によるアリーナへの立ち入りを原則として認めない。
  - ②スタンド席については隣り合う席は使用禁止とし、1席ずつ空けての使用とする。
- (3)各チームによる使用施設・物品の消毒  
各チームは、主催者が用意した消毒セットにより、各チームが使用するスタンド席、アリーナの選手待機用椅子等について、適宜消毒を行う。

#### (4)各場所での消毒液の設置

体育館入り口、トイレ、アリーナ、観客席などに消毒液を設置し、こまめな手指消毒を呼びかける。

#### (5)更衣室の使用

なるべく着替えが不要な状態での参加を求め、着替えが必要な場合にも一度に利用できる人数を制限する。

#### (6)飲食について

- ①指定された場所(観覧席内の選手席)以外では飲食は行わない。
- ②飲食を行う前に、必ず手洗い・手指消毒を行うよう呼びかけること。
- ③飲み物の回し飲みは行わないよう呼びかけること。
- ④同じ箸の共有は行わないよう呼びかけること。
- ⑤周囲との適切な距離の確保を呼びかけること。

#### (7)体験コーナーの見送り

不特定多数の参加者を対象とした各種体験コーナーは設置しない。

#### (8)換気の徹底

体育館内はアリーナ、観客席それぞれ外部とつながる扉を常時2か所以上開放し、換気を徹底する。

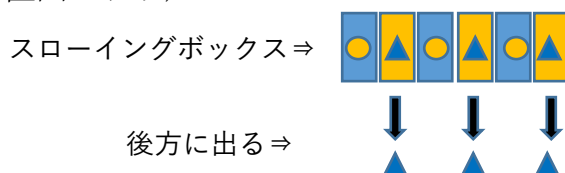
#### (9)参加者が順守すべき事項についてチェックリスト化し、会場内に表示する。

#### (10)緊急時に備え、看護師を会場内に常駐させる。

### 5. 競技中の感染防止策

#### (1)選手への対応について

- ①各チーム試合前と試合後には必ず消毒液による手指消毒を行うこと。
- ②スローイングボックスに立つのは、投球順にあたるチームの選手のみとし、相手方チームの選手については、コート外において、ソーシャルディスタンスをとりながら待機する。  
(参考 以下配置図とおりに)



- ③選手は、競技中も含め、原則としてマスクを着用する。
- ④競技中に作戦会議を行う場合には、ソーシャルディスタンスを確保したうえで行うこと。
- ⑤各エンド終了後、審判による判定を確認する際には、各チームの代表者のみが立ち会うこと。

#### (2)応援について

- ①マスク着用を徹底すること。
- ②大声での声援を送らないこと。
- ③なるべく会話は控えること。

#### (3)審判・消毒担当スタッフの対応について

- ①常時マスク・ゴム手袋を着用すること。
- ②各コートに消毒担当のスタッフを配置し、エンド、試合終了のたびに、ボッチャボール及びコート床の消毒を行うこと。
- ③主審・副審はソーシャルディスタンスを確保した上で業務にあたること。

## 6. 開会式、閉会式の際の感染防止策

- (1)従来のような開会式、閉会式等のセレモニーは行わない。
- (2)参加賞については、事前に受付において配布する。
- (3)試合結果については、主催者側から順位を読み上げ、優勝トロフィー、表彰状、ブーケ等については、チームごとに分けた机上に用意し、それぞれ取りに行くこととする。

## 7. その他

- (1)キッズブーケプロジェクトの感染対策
  - 参加者はマスク及びゴム手袋を着用
  - 座席は、1席ずつ空けてソーシャルディスタンスを確保する。
- (2)選手とその関係者が出す私的なごみ類は、すべて持ち帰ってもらうこと。  
なお、主催者側が選手に用意する弁当のごみについては、主催者側で回収する。